

(学年) 第2学年、(教科・科目) 芸術科・書道

協働学習

(単元) 生活の中の書～筆文字を集めて鑑賞しよう～

(本時のねらい)

- ①身の回りにあるさまざまな筆文字のよさや美しさを味わい、その特徴や表現効果について考える。
- ②個々で捉えた筆文字のよさをグループで話し合うことで考えを深める。

(ICT活用方法)

①事前指導

校外で見つけた筆文字をスマートフォンで撮影しておくよう伝えておき、教育クラウドプラットフォームを使って画像データを一人一台端末へ移動させてプレゼンテーションソフトにまとめさせる。

②本時の展開

生徒が作成したプレゼンテーションソフトを黒板に投影しながら発表会を行う。発表後の意見交換の際にも、改めて画像を見ながら鑑賞を深めさせる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・本時の目標及び活動内容について知る。	・本時の目標及び活動内容について説明する。	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ発表を行い、互いが集めた筆文字を鑑賞する。 ・ペアになって話し合う。 ・ペアごとに話し合った内容を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あとで二人ずつに分かれて意見交換をすることを伝え、ワークシートにメモをとりながら鑑賞するよう伝える。 ・自分なりの見方・感じ方を働かせながら、改めて互いの画像を鑑賞し、特徴や表現効果について話し合うよう伝える。 ・あとで全体で共有することを伝え、ワークシートにメモをとっておくよう伝える。 ・必要に応じて、生徒に補足説明をうながしたり、他の生徒の意見を聞いたりしながら、考えを深められるよう導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の一人一台端末の画像を黒板に投影する。 ・教師用端末に入った生徒の画像を投影しながら、全体で共有でき

			るようにする。
まとめ 5分	・本時の感想を入力する。		

(授業の様子)



生徒が作成したレポートと感想（一部）

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒の中には何十枚もの画像を撮影してきた生徒もおり、ねらいであった主体的に書と関わり、見ることを楽しんだ様子がうかがえた。また、生徒が作成したレポートを共有することで、生徒が自らのペースで繰り返し鑑賞しながら、考えを深めることができたこともよかった点である。

通常の授業では、書の鑑賞教材は専ら教科書に掲載された図版が中心であり、書はどこか遠い存在となりがちであったが、今回の取り組みを通して、生活の中の書からも書の美しさや表現効果を学ばせることができたことは、大きな収穫であった。

今後は、他の教育クラウドサービスの機能を有効活用し、ICT を活用した授業実践を積み重ねていきたい。